

# 韓国における高等遠隔教育の現状と課題

—大邱地域を中心として—

平 篤志

(国際理解教育・地理学)

## E-learning in Higher Education in Korea : A Case Study in Taegu

Atsushi Taira

*Faculty of Education, Kagawa University, 1-1 Saiwai-cho, Takamatsu 760-8522*

**要 旨** 本研究は、韓国における高等教育を中心とした遠隔教育の現状と課題を、大邱地域を事例として明らかにすることを目的とする。韓国は世界のIT先進国の1つである。大学教育におけるIT技術の応用もめざましく、サイバー大学も多数存在する。その代表校の1つである大邱サイバー大学は、教育方法・教育プログラムの面で既存の一般大学との差別化を図りつつ、韓国のみならず世界をターゲットにしたオンライン高等教育の普及を目指している。

**キーワード** e-learning 遠隔教育 高等教育 大学教育 韓国

### I. はじめに

#### 1. 目的と方法

今日、世界の主要国の大学教育において、新たな教育方法の1つとしてインターネット等のIT技術を使った遠隔教育が注目されている。日本においても、大学のキャンパスをもたない、いわゆるサイバー大学(学校名も「サイバー大学」<sup>1)</sup>)が2007年4月に開学し、注目を集めた。国公私立の既存の大学の中にも、熊本大学や早稲田大学のように遠隔教育プログラムを導入し始めた大学がある。また、アメリカ合衆国では、2008年前半、原油値上がりに伴うガソリン価格急騰に端を発した諸物価の高騰も影響して、家計負担の軽減策の1つとしてインター

ネットを介した遠隔教育(e-learningと呼ばれる)の広がりが見られた(Newsweek, 2008)。

本研究は、韓国における高等教育を中心とした遠隔教育の現状と課題を明らかにすることを目的とする<sup>2)</sup>。事例地域として韓国を代表する地方都市・大邱を内包する大邱地域を取り上げる(図1)。本研究が韓国を事例国として取り上げた理由は、韓国がIT先進国の1つであり、特に教育分野へのIT技術の応用が進んでいるためである。大学教育におけるIT技術の応用もめざましく、2008年3月現在、17校のサイバー大学が存在することもその証拠の1つである。そのサイバー大学の代表校の1つが事例とする大邱地域に立地する。

研究方法として、既存の文献資料を分析した



図1 調査対象地域

ほか、韓国において2008年3月および10月の2回にわたって現地調査を行った。現地調査では、大邱地域のサイバー大学（大邱サイバー大学および大邱大学の遠隔教育部門）を訪ね、大学（プログラム）運営の責任者に対する聞き取り調査を行い、合わせて一次資料の収集を行った。

## 2. サイバー大学について

サイバー大学の最大の特徴は、理念的にはそれが仮想空間に存在する大学であるため、距離の摩擦が存在せず、高速インターネット環境さえあれば、世界中どこにいても高等教育レベルの学習ができるという点である。また、一般大学の面接型の授業に比べ、時間的な自由度が高く、学生は自分の都合に合わせて授業や試験を受けられる。したがって、特に働きながら学び、より高度な学歴や資格取得を望む社会人にとっては、非常に好都合な学習システムといえる。

しかし、現実的には、社会福祉学や幼児教育学等、その専攻により実習が必要となり、一般大学のような面接型の授業を行うこともあり、

オンラインに完全に依拠できない部分も存在する。その場合には、距離の摩擦が発生し、学生にとって通学至便なサテライトキャンパスの場所が重要となる。実際、サイバー大学であってもその受講生は、大学の本部（キャンパス）のある地域の居住者が多いようである。したがって、仮想の教育空間と現実の地理空間との関係の考察も今度の研究課題となろう。

大学として後発のサイバー大学は、既存の一般大学との競争に打ち勝つため、上記の利点を最大限に生かしつつ、既存の大学において十分にカバーされていない学問領域を中心としたカリキュラムを組む場合が多い。また当然、サイバー大学同士の競争も激しく、外部評価機関による評価ランキングを上げることが学生数確保の面で重要になる。

財政・運用面では、一般大学に比べて、特に全体に占める設備関連の初期投資費用が高く、また通常時においても技術・運営スタッフ等の人件費がかさむため、サイバー大学単体での運営は容易ではない。一般大学（あるいはその運営法人）がサーバー大学の母体となっている事例が多いことはその現れである。また、一般大学（法人）が運営母体であれば、サーバー大学との提携を通じて、相互に教育プログラムの不足部分を補填できるというメリットがある。

## II. 韓国における遠隔教育

韓国は、上述したように、世界においてIT技術を駆使した高等遠隔教育の先進地域の1つである。韓国政府のある程度の後押しもあり、2001年以降17のサイバー大学が設立され、韓国のみならずより広域な地域における高等教育の一翼を担っている。表1に示したように、韓国のサイバー大学は、設置形態からみて大きく、学校法人立（10校）と非営利財団法人立（7校）に区分される。設立年次では、2001年設立が9校、2002年設立が6校、2003または2004年の設立が2校となっており、短期間に集中的に設立されたことがわかる。

韓国のサイバー大学は、生涯学習法（2007年

表1 韓国におけるサイバー大学一覧

課程	設置者	大学名	設立年	学生定員	定員に対する 在学生の割合(%)	学部・学科数	学部・学科
学士課程	学校法人	慶熙サイバー大学	2001	2,400	69.7	18学科	情報通信, 社会福祉, 行政, 日本, 中国, 英米, e-ビジネス, 資産管理, 税務会計等
		世宗サイバー大学	2001	1,300	69.1	7学部18専攻	ホテル観光経営, 不動産経営, 経営, 社会福祉, 実用英語, ユビキタス, 文化芸術
		大邱サイバー大学	2002	600	104	12学科	特殊教育, 社会福祉, 相談心理, 経営, コンピュータ情報, 福祉行政, 法務不動産等
		円光デジタル大学	2002	700	87.9	12学科	漢方健康, 伝統公演芸術, 韓国服飾科学, 社会福祉, 警察, 不動産経営, ゲーム等
		漢陽サイバー大学	2002	2,200	92.8	13学科	情報通信工学, 実用英語, 社会福祉, 観光, 不動産, 経営, 教育工学, デジタルデザイン等
		釜山デジタル大学	2002	600	87.6	2学部8学科	社会福祉, 福祉教育
		嶺南サイバー大学	2001	600	22.2	5学科	実用英語, ホテル外食創業経営, 社会福祉, 論述指導, ダンス教育
		国際デジタル大学	2003	750	64.8	9学科	経営, 社会科学, 教育, 芸術体育等
		ソウルサイバー大学	2001	1,800	100.2	4学部13学科	人間福祉, 社会科学, 経商, IT
	サイバー外国語大学	2004	1,350	62.3	7学部	英語, 中国語, 日本語, 韓国語, 経営, 言論広報・文化コンテンツ, 教養	
	非営利財団法人	ソウルデジタル大学	2001	3,000	85.5	16学部23専攻	経営, 法務行政, 不動産, 英語, 中国, 日本, 社会福祉, 教育, マルチメディア等
		オープンサイバー大学	2001	1,000	32.4	4学部9学科	国際文化, 法務経営, 人間福祉, 応用科学
		韓国デジタル大学	2001	2,500	67.1	13学科	デジタル情報, デジタル経営, 不動産経済, 社会福祉, 法, 実用外国語, 文化芸術等
		韓国サイバー大学	2001	1,650	64.3	14学科	教育, 法, 不動産, 社会福祉, 文芸創作, 実用英語, コンピュータ情報通信等
漢城デジタル大学		2002	1,000	74	16学科	文芸創作, 演劇映画, アニメーション, 経営, 社会福祉, 実用外国語, 観光経営等	
専門 学士課程	学校法人	世界サイバー大学	2001	1,300	98.5	18学科	社会福祉, 保育, 観光ホテル外食, 薬用健康食品, インターネット情報, 健康管理等
		永進サイバー大学	2002	800	116.6	6学科	コンピュータ通信, マルチメディア, 経営, 社会福祉, ケア福祉, 不動産

(アジアマンスリーニュース (2007年11月号) により作成)

3月施行)によって設立が可能になった高等教育機関である。法的には「遠隔大学形態の生涯教育施設」である。しかし、水準や設備の伴わないサイバー大学の乱立を防ぐため、2006年7月に日本の文部科学省にあたる教育人的資源部は、「サイバー大学制度改善推進計画」を発表し、サイバー大学の社会的責任を高めて管理体

制を強化することにした。サイバー大学には、高等教育法と私立学校法が適用されることになり、各関連法の改定案は2007年9月に韓国の国会を通過した。この改定により、サイバー大学の設置主体は、地方自治体、学校法人、非営利法人等から学校法人に限定されることになった。教育施設設置基準も合わせて厳しくなり、

施設の最小面積が660㎡から990㎡へと拡大され、学生200人あたり専任教員を1名おくことが求められるようになった。一方で、サイバー大学は私立大学として政府の補助金を受け、また大学院修士課程を設置できるようになった（メディア教育開発センター、2006）。この2007年には、サイバー大学に対する初めての外部評価も実施された。各大学は、A評価からD評価までの4段階で評価され、A評価を受けた大学は報奨金を得た。他方、CあるいはD評価を受けた大学は翌年に再度評価を受けることになった。その後、2008年には上記の生涯学習法が改正されて高等教育法となり、既存の17サイバー大学は、再度認可申請を行うことになった。

### Ⅲ. 大邱地域における事例研究

ここでは、現地調査に基づき、大邱地域のサイバー大学を事例として、韓国のサイバー大学の特徴を説明する。サイバー大学の事例校として大邱サイバー大学を、一般大学内のサイバー教育部門の事例として大邱大学を取り上げる。大邱サイバー大学は、韓国において評価の高いサイバー大学の1つとして認識されている。

事例校の立地する大邱（テグ）は、人口255万（2003年）を擁する韓国第4の大都市である。首都ソウルと第2位の大都市釜山の間に位置し、一般国道、高速道路、一般鉄道、高速鉄道が走る交通幹線上にある。四方を山地に囲まれた盆地にあり、寒暖の差が大きい内陸性の気候が特徴的である。大邱は、商工業が発達した産業都市である一方、多くの大学が立地する教育文化都市でもある。

#### 1. 大邱サイバー大学

##### （1）概観・沿革

大邱サイバー大学は、2001年に政府により設立が認可され、翌2002年に開学した（表2参照）。設立母体は、ヨンワン教育財団である。本部は、大邱市に近い、慶尚北道（キョンサンブクド）の慶山（キョンサン）市にある。現学長は、イ・ヨンセ氏で、大学設立以来学長を続

表2 大邱サイバー大学の近年の動き

2001年	大学設立認可。インターネット学科、e-経営学科、IT企画学科、総合教育学科の3学科制でスタート。
2002年	開学。イ・ヨンセ博士学長就任、学科新設（社会福祉学科、法務行政学科、特殊教育学科）
2003年	アメリカ合衆国ノヴァ・サウスイースタン大学、中国延辺教育学院と交流協定締結
2004年	大学附属遠隔教育研修所設置認可
2005年	大邱大学との交流協定締結、ソウル、光州、釜山、大田地域学習センター開設、美術治療学科新設
2006年	第1回卒業式挙行、キョンイン、済州地域学習センター開設、言語治療学科新設
2007年	遠隔教育総合評価にて優秀大学に選定、全国初の遊戯治療学科新設
2009年	リハビリ福祉学科、臨床心理学科新設予定

（大邱サイバー大学資料により作成）

けている。組織面では独立しているが、同じ財団が運営する大邱大学と密接なつながりがある。2008年9月現在の学生数は、2,093人である（詳しくは、表5を参照）。

大邱サイバー大学の理念は、人間愛と奉仕の精神であり、教職員と学生が互いに心を通じ合える大学、学生間の友情と愛情に溢れる大学を目指している。また、大邱サイバー大学の特徴として、特殊教育、社会福祉、芸術治療研究の分野で高い評価を受けており、障害者と社会的弱者の援助を考える大学、国際化時代において他大学の先を行く大学が特徴であるという。

##### （2）組織構造

大学運営をめぐる重要事項は、教育課程委員会が計画を立案し、理事会に諮り、学長が最終的に決定を下す。学長の下、計画・広報部門およびその他様々な委員会がおかれている。大学の組織は、図2のような構造になっている。事務局は、教務課、学生課、企画協力課、国際交流課、総務課からなる。学務課には、コンテンツ開発班と学務班がおかれ、総務課には、管理運営補助班と情報補助班がおかれている。学科は後で詳述するが、社会福祉学科、特殊教育学科、美術治療法学科ほか全部で10の学科からなる。附属施設・組織に、遠隔教育研究院、生涯教育院、サイバー特殊教育研究院と産学協力院

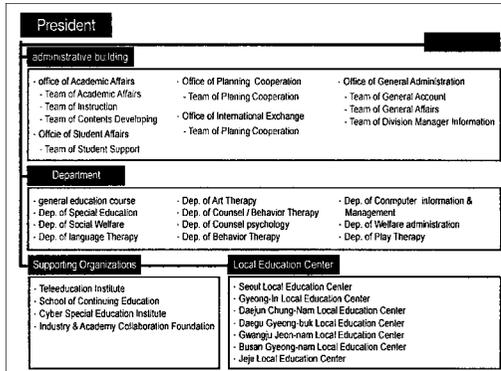


図2 大邱サイバー大学組織図(2008年)  
(大邱サイバー大学資料による)

がある。

大邱サイバー大学は、遠隔教育を核とする大学であるが、「地域学習センター」を大邱市内ほか各所に設置して、従来型の対面授業の場も確保している。従来型の対面授業による教育は、オンライン教育に対して、「オフライン」教育と呼ばれる。オフライン教育の場は、福祉関係の国家資格等の取得に欠かせない実習形式の授業の実施のため必要になる。地域学習センターは、ソウル、慶仁、大田、大邱、光州、釜山、済州地域の7箇所にある。また、大邱の本部キャンパスの他、ソウルに事務所がある。

### (3) 教職員

2008年9月時点では、教員の内訳は、専任教員18人、非常勤84人の計102人であり、非常勤教員への依存度が高い教育体制となっている(表3)。専任教員は、コンテンツ開発も担当している。事務系職員は48人おり、うち教務関係

が33人、総務関係が11人である。2008年に入って生涯教育法が高等教育法に改正され、既存の17サイバー大学は、新たに設置認可申請を行うこととなった。また学生定員の増加に対応するため、2007年12月以降専任教員が2人増員され、事務・技術系職員(助手を含む)が19人増員された。

### (4) 学科構成とカリキュラム・学生数

大邱サイバー大学は現在、特殊教育、社会福祉、カウンセリングと治療分野をその強みとしている。将来的には、新しい領域の学科新設も視野に入れている。学科の新設は、社会における当該学科の選好度などに関する調査を経て、大学の教育理念などと照らし合わせその可否が検討される。

学生の所属する学科は、表4にみるように、特殊教育学科、芸術療法学科、社会福祉学科、コンピュータ・教養学科など現在10ある。授業科目数は数百にのぼる。年間授業料は、学生数の確保と学生負担の軽減のため、一般大学の約半分に設定しているという。成績優秀者、経済的困窮者などに、授業料相当額の奨学金を支給している。おおよそ6人に1人の割合で何らかの奨学金を利用している。

カリキュラムでは、実用性のある各学科の特色を生かしながら、学科間の連携が強化されつつある(後述の副専攻制、複数専攻制参照)。授業は、理論的なものと実習的なものからなり、各種の治療学・社会福祉学に係る実習に関しては、在学中に1、2科目に該当する時間数、全国(学科ごとに60~100か所)の提携医療・

表3 大邱サイバー大学の教職員の内訳(2008年9月1日現在)

区分	正規教員					その他教員				合計
	教授	副教授	助教授	講師	小計	招聘教授	兼任教授	時間講師	小計	
人数	0	3	8	7	18	1	4	79	84	102

学務課					総務課				学生課	企業協力課	合計
学務担当	就職担当	コンテンツ開発担当	学課担当	助教	課長	財政担当	総務担当	情報課支援担当	学生支援担当	企業協力担当	
3	2	11	6	11	1	3	4	3	2	2	48

(大邱サイバー大学資料により作成)

表4 大邱サイバー大学の学科構成(2008年現在)

・特殊教育学科
・芸術治療学科
・言語病理学科
・行動治療学科
・遊戯治療学科
・社会福祉学科
・福祉行政学科
・コンピュータ・経営行政学科
・カウンセリング心理学科
・面接・行動治療学科
新設計画
・リハビリ福祉学科(2009年度)
・臨床心理学科(2009年度)

(大邱サイバー大学資料により作成)

福祉機関において研修を受けることになっている。現在、学生の約6割が大邱地域に、約3割が首都であるソウル地域に居住しているため、実習を行える場所もこれに対応している。

カリキュラムの特色の1つが、学科間のシナジー効果を図る副専攻・複数専攻制度である。副専攻・複数専攻制度は、学生に様々な学問履修の機会を提供し、就業の機会拡大と社会適応力の向上を目的として開始された。大邱サイバー大学では、在学生の大多数(約80%)が社会人であり、うち相当数は、現職の関連分野に関するさらなる専門知識の獲得、再就業、資格取得、大学院への進学などを目指している。したがって、大学では、多様な資格取得プログラムを開設するとともに、副専攻・複数専攻制度の履修を奨励している。現在、約20%の学生が副専攻(履修者の5%)・複数専攻(同95%)プログラムを履修している。領域的には、社会福祉学や保育学の学生が多い。

大邱サイバー大学は、大学間連携と産学連携にも力を入れている。大学間連携では、運営母体を一にする大邱大学との連携はもちろんのこと、韓国内外の大学、特に同じサイバー大学との連携を強化しつつある。外国の提携先の例として、アメリカ合衆国のノヴァ・サウスイースタン大学(Nova Southeastern University)

がある。

大邱サイバー大学の2008年9月現在の学生総数は、2,093人である。学年別では、4年生855人、3年生846人、2年生142人、1年生250人と高学年ほど学生数が多い少々アンバランスな構成となっている(表5)。その理由は、2年制の専門大学(日本の短期大学に相当)卒の社会人を(編)入学生の核とするというサイバー大学の特性上、3年次入学生の割当比率が高くなることによる(一般大学は、欠員があるときのみ可)。これによって、社会人は卒業までの年数を短縮化できる。今後は、大学運営を財政面で安定化させるため、1年生の比率増大が検討課題である。また、さらなる大学の特徴の明確化と教育プログラムの高度化、差別化が必要となろう。学科別では、多い順に、社会福祉学科の学生が571人、特殊教育学科が485人、美術治療法学科が326人となっており、これら3学科で全体の66%を占める。学科ごとの学生数の均衡化も課題の1つとなりそうである。

表6は、大邱サイバー大学の2002年度から2007年度までの学生数の推移を示したものである。開学年にあたる2002年度は97人であったが、その後学生数は順調に伸びて、2007年度には開学時の約26倍の2,495人となった。ただし、編入生に関しては、2007年度の数(852人)は、

表5 大邱サイバー大学の学科別学年別学生数(2008年9月1日現在)

学科	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
特殊教育学科	33	37	159	256	485
美術治療学科	39	0	126	161	326
言語病理学科	40	45	88	0	173
行動治療学科	15	0	69	36	120
遊戯治療学科	0	0	43	0	43
社会福祉学科	79	43	195	254	571
福祉行政学科	6	7	35	55	103
コンピュータ・経営行政学科	10	10	38	37	95
カウンセリング心理学科	28	0	93	36	157
面接・行動治療学科	0	0	0	20	20
合計	250	142	846	855	2093

(大邱サイバー大学資料により作成)

表6 大邱サイバー大学の学生数の推移

区分	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	
正規学生	編入学生	97	447	562	948	1,056	852
	在学生	0	82	352	797	1,391	1,643
計	97	529	914	1,745	2,447	2,495	
増加率 (%)		445.3	72.7	90.9	40.2	1.9	

(大邱サイバー大学資料により作成)

2006年度を200人ほど下回っており、編入生の安定的な確保も重要となろう。

#### (5) 建物・設備

施設の内訳は、表7の通りである。このうちIT情報関連では、PC実習室が3室、スタジオが2室（副スタジオを含めると4）室、媒体制作室が1室ある。主スタジオの1つは、2008年10月に韓国と日本の最新の機器を導入して完成した。情報通信館のマルチメディア室は、対面型の講義室や各種行事の開催室としても使用されている。

コンピュータシステムは、コンピュータサーバー(4台)、記録保存用各種機器、ウェブサーバー(5台)、メールサーバー(2台)などからなり、システム情報の保護に配慮した高度なシステムが構築されている。

#### (6) 収入と運営費

大邱サイバー大学では、学生からの授業料収入が収入の大半を占め、政府・自治体からの補助金はわずかである。大学運営に係る経費では、サイバー大学に共通する点として、設備等の設置を主とした初期費用が高いことがあげられる。したがって、学生数の確保とその増加を見通した、綿密な損益分岐点の検討が重要となる。現在、大邱サイバー大学の事務局は、大邱大学キャンパス内にある建物の中にあるが、近接性の点から大邱市内に移転するかどうか検討

中であるという。

大学運営費に占める人件費の割合は、ほぼ一般大学と同じである。サイバー大学の内部資料によれば、2006年度から2008年度の3か年の平均(2008年度の数値は推定値)でみると、収入総額に占める人件費の割合は33%である。うち、教員人件費が16%、事務職員人件費が17%となっている。

建物に関しては、同一財団が運営する大邱大学の施設を安価に貸与されている。したがって、支出は、コンピュータサーバー・スタジオ機器などの維持費、ソフトウェア、インターネット回線等のリース費、地域学習センターの建物等賃貸料などからなる。学生数の増加に伴って、施設・運営費も増加の傾向にある。

教育負担に関して、正規教員は、原則年間で6科目(18指数分)を担当する。受講学生数も考慮し、規定にしたがって授業時間の時間給と学期手当を合算して計算する。兼任講師(他大学、民間企業等の正規職員)、時間講師(フリーの非常勤講師)の給与は、それぞれ規定に従って支給される。クラス増と閉講については、受講者数が200人を越える場合は、クラス増で対応し、逆に専門科目の場合受講者数10名未満、教養科目の場合30人未満の場合は当該科目は閉講することで対応している。

## 2. 大邱大学

大邱サイバー大学と同じ教育財団が運営する大邱大学は、キリスト教の宗教的理念に則り、かつ実学を志向する社会事業系の大学として1984年に設立された比較的新しい大学である。大学キャンパスは、大邱市に隣接する慶山市郊外にある。開学後、新たな学部、学科が順次増設され、2008年現在、人文・社会・自然科学等ほぼ全領域をカバーする12学部と9つの大

表7 大邱サイバー大学の施設内訳(2007年4月現在)

区分	事務室	助手室	PC実習室	セミナー室	媒体制作室	スタジオ	ソウル事務所	計
数	6	4	3	3	1	2	1	20
面積(m <sup>2</sup> )	406	79	743	367	67	289	66	2,017

(大邱サイバー大学資料により作成)

学院研究科をもち、1.8万人の学生と900人近い教員・事務スタッフを擁し、国内最大規模の美しいキャンパスを誇る総合大学となっている。学問領域の中では、建学の主旨からも、特に福祉学や特殊教育学に力を入れている。その理由は、新興大学として、既存大学のもつ専門分野との差別化をはかる必要があることと、先に挙げた分野に対する市場のニーズが存在することにある。IT時代に対応した施設設備の充実にも力を入れており、比較的安価な授業料で高品質の教育を提供している。

大邱大学の遠隔教育は、1998年に開始された。特殊教育を専攻する、主として障害をもつ学生が時間的余裕をもって大学教育を受けられるようにすることがその目的であった。現在、学期ごとに約30科目がオンラインで実施されている。多くは多人数の授業であり、試験は大学キャンパスで行われる場合もある。オンライン管理チームが運営にあたり、教員の中から希望者を募って授業を開講している。スタッフには、事務・技術部門でメディア開発担当が2人、コンテンツ開発が2人、ウェブ管理が1名、アシスタントが1人、そして全体的な管理者が1人いる。管理運営の外部委託は行っていない。現時点では、すべて大学内部で対応している。コストの面では、1講座あたり約1千万ウォン（調査時のレートで約100万円）の費用がかかるという。通常、コンテンツの管理運営、学生の管理は、当該授業の担当教員が行う。おおよそ受講生200人に助手が1人つく。受講生が400人を越える場合は、200人単位の2つのグループに分割できる。授業のすべてをオンラインで実施するのではなく、オンラインとオフライン教育を適度に行い、双方の教育方法の利点を最大限に生かすことも可能である。

遠隔教育の課題は、将来計画の構築、コンテンツ開発、そして管理運営体制の強化である。このうち、コンテンツ開発がサイバー大学において最も重要であるという。その際、科目設計とそれを担う教員確保が要となる。授業では、内容が平板にならないよう、通常の黒板（白板）、電子黒板、そしてウェブページを活用し、

多様な方法を用いて学生の興味・関心を持続すべく努めている。学生には、受け身にならないように、クイズなどを通じて返答を求めするなど能動的な行動を喚起している。学生の成績評価は、オンライン試験を中心にして行われるが、授業への出席、課題レポートなどを総合して、各教員が最終評価を下すことになっている。

## V. まとめ

本研究は、韓国における高等教育を中心とした遠隔教育の現状と課題を、大邱地域のサイバー大学を事例として明らかにすることを目的として行った。研究結果の要点は、以下の通りである。

韓国は、世界においてIT技術を駆使した高等遠隔教育の先進地域の1つである。韓国政府の後押しもあり、現在17のサイバー大学が存在し、韓国のみならずより広域な地域における高等教育の一翼を担っている。

サイバー大学の最大の特徴は、理念的にはそれが仮想空間に存在する大学であるため、距離の摩擦が存在せず、高速インターネット環境さえあれば、世界中どこにいても高等教育レベルの学習ができるという点である。また、一般大学の面接型の授業に比べ、時間的な自由度が高く、学生は自分の都合に合わせて授業や試験を受けられる。したがって、特に働きながら学び、より高度な学歴や資格取得を望む社会人にとっては、非常に好都合な学習システムであるといえる。

しかし反面、実際には、社会福祉学や幼児教育学等の専攻により実習が必要となり、一般大学のような面接型の授業を行うこともあり、オンラインに完全に依拠できない部分も存在する。その場合には、距離の摩擦が発生し、学生にとって通学至便なサテライトキャンパスの場所が重要となる。

大学として後発のサイバー大学は、既存の一般大学との競争に打ち勝つため、大邱サイバー大学の例にみられるように、上記の利点を最大限に生かしつつ、既存の大学において十分にカ

バーされていない学問領域を中心としたカリキュラムを組む場合が多い。また当然、サイバー大学同士の競争も激しく、外部評価機関による評価ランキングを上げることが学生数確保の面で重要になる。

財政・運用面では、一般大学に比べて、特に全体に占める設備関連の初期投資費用が高く、また通常時においても技術・運営スタッフ等の人件費がかさむため、サイバー大学単体での運営は容易ではない。大邱サイバー大学のように、一般大学（あるいはその運営法人）がサイバー大学の母体となっている事例が多いことは、その現れである。また、一般大学（法人）が運営母体であれば、サイバー大学との提携を通じて、相互に教育プログラムの不足部分を補填することができる。

サイバー大学は、現在なお発展の途上にある。入学者を継続的に確保するためにも、各大学とも質の高いプログラムを維持し、卒業後の進路実績を積み重ねることが求められる。

## 謝辞

韓国における現地調査に際しては、事例として取り上げた大学の関係者をはじめとして、多くの方々のご協力を得た。この場を借りて、心より感謝申し上げたい。

## 注

1. 株式会社運営方式の通信制大学である。すべての授業にインターネットを活用したオンデマンド方式の教育に特徴がある。福岡市東区に福岡キャンパスが、また東京都港区に東京オフィスがある。現在、IT総合学部と世界遺産学部の2学部を擁する。2007年11月現在の学生数は620人、教員数は75人（うち客員教員40人）である。
2. 本研究に関わる調査は、諸外国における遠隔教育の実態とそれを取り巻く社会的な環境の特徴の説明を目的とする、平成19-20年度文部科学省「先導的大学改革推進委託事業」の一部として韓国において実施された。本研究は、当該事業の報告書に加筆修正を行ったものである。当該事業に研究分担者の1人として携わることを可能にして下さっ

た村山聡香川大学教育学部教授に感謝申し上げたい。

## 参考文献

- eラーニング戦略研究所. 2007. 「韓国サイバー大学調査報告書」, eラーニング戦略研究所.
- eラーニング戦略研究所. 2007. 「韓国eラーニングビジネス調査報告書」, eラーニング戦略研究所.
- 吉田文・田口真奈・中原淳編. 2005. 『大学eラーニングの経営戦略』, 東京電機大学出版局.
- メディア教育開発センター. 2006. 「諸外国におけるICT活用教育に関する調査研究報告書」, メディア教育開発センター.
- Manderschied, J.-C. and Jeunesse, C. 2007. *L'enseignement en ligne: À l'université et dans les formations professionnelles*. Bruxelles: De Boeck.
- Newsweek. 2008. Tune in tomorrow: New technology and higher gas prices are driving a boom in online education across the United States. Newsweek, Aug. 18/25, p. 63.